

# 質 疑 要 旨

山口委員

質 疑 要 旨	担当部	答 弁 者
<p>1 市財政の財源の配分について</p> <p>(1) 財源配分の推移について</p> <p>「消滅可能性都市」から脱却して「挑戦可能性都市」を目指し、デジタル技術の導入や人材育成になど特色ある独自の政策に積極的に取り組むことは大変重要であると思うが、基礎自治体として、福祉・健康分野の取り組みも重要であるとする。</p> <p>「市財政の財源配分」いう視点で、市税や地方交付税など市の裁量で自由に使える財源、いわゆる「一般財源」をどのように配分しているのか、歳出科目から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①総務費・商工費・教育費のグループと</li> <li>②民生費・衛生費のグループを抜き出し</li> </ul> <p>それぞれの決算額と、そのうち一般財源が占める額及び割合について令和4年度と10年前の平成24年度の決算を比較しその伸び率等を示せ。</p>	<p>総務部</p>	<p>総務部長</p>
<p>(2) 今後の一般財源の配分バランスの認識について</p> <p>市政運営においては都市間の競争を勝ち抜いていくための攻めの政策と、市民の安全安心な生活を支えていく守りの政策の適切なバランスが求められる。</p> <p>比較的、用途裁量の自由度が高い一般財源の配分が、今後の政策展開に大きく反映されると思うが、見解を問う。</p>	<p>総務部</p>	<p>総務部長</p>

## 質 疑 要 旨

山口委員

質 疑 要 旨	担当部	答 弁 者
<p>2 加賀市行政サービスセンターやコンビニ交付の実績について</p> <p>(1) 行政サービスセンターの利用状況について</p> <p>令和3年6月に行政サービスセンターがオープンして約2年が経過したが、令和4年度の利用状況として、住民票、戸籍謄・抄本等の証明書の交付総件数、それに対する行政サービスセンターでの交付件数の割合はどうであったか。</p> <p>オープン時の利用状況の想定と比較してはどのような状況か。</p> <p>また、山代・片山津・動橋出張所・山中温泉支所窓口課の統合であったが、利便性や経費節減の観点からの効果は表れているか。</p>	市民健康部	市民健康部長
<p>(2) コンビニ交付の利用状況について</p> <p>平成30年10月に証明書のコンビニ交付がスタートして約5年が経過するが、令和4年度の利用状況として、住民票、戸籍謄・抄本等の証明書の交付総件数、それに対するコンビニ交付での交付件数の割合はどうであったか。</p> <p>また、コンビニ交付の手数料を200円に軽減して利用を促しているが利用状況の実態はどうか。</p>	市民健康部	市民健康部長

# 質 疑 要 旨

山口委員

質 疑 要 旨	担当部	答 弁 者
<p>(3) 市民窓口の今後について</p> <p>コンビニ交付については、市民窓口の行政改革（統合やアウトソーシング）の観点から取組が進められてきていると理解している。</p> <p>そこで、これまでの取り組みや今後のデジタル推進を踏まえ、市民窓口の在り方の方向性を尋ねる。</p>	市民健康部	市民健康部長